

VOICE



三好町では、心の通う対話の町政を進めていこうと、皆さまから町政に対する意見をいただく対話集会「皆さまと語る会」を開催しています。こうしたなか、今年度はテーマを決めて実施。その第四回目となる「皆さまと語る会」が9月12日、「これからの公園緑地づくり」をテーマに教育学習センターで行われました。

◆開催テーマ「これからの公園緑地づくり」 9月12日(土)開催 22人参加

住民 森などは、通常40%くらい光が入るのですが、三好丘緑地は、10%以下しか入らず、「木はもやし」状態であると聞きました。ぜひ一度、三好丘緑地を見てもらいたいです。

町長 三好丘緑地には、何度も足を運んでいます。この緑地は、ほとんどが森林レクリエーション活動などの場とする保健保安林で、一部が土砂流出防備保安林となっています。保安林は、特別なことがない限り、現況の樹木の整備はできないと思います。しかし、現在具体的な計画はありませんが、整備などの際は、住民参加で行えたらよいと思います。今後どのような形でできるのか、前向きに考えていきたいと思っています。

住民 三好町は、年々緑が少なくなっているように感じています。開発も大事ですが、便利なのが本当に良いのでしょうか。今後、まちづくりを進める上で、みんなで意見を出し合いたいと思います。

し合い、まちや緑地ができていけば良いと思います。

町長 特に三好ヶ丘周辺のことと思います。三好ヶ丘は、かつて緑の多いところでした。その後、4地区で区画整理の開発となりました。三好ヶ丘からは、福谷地区の山林と隣接する豊田市の山林が見えます。三好町は、市町村合併で単独とする道を選びましたが、豊田市とは、緑を保全していただくことも含め、今後もお付き合いが必要だと思います。わたしとしては、生産緑地としての果樹園や畑の保全もしていきたいと考えています。また緑地を創出するために、公共用地への植栽を進めていきます。少しのものでも、見た目の緑をなるべく残し、緑を増やしていきたいと考えています。

住民 大事に残していきたいと思った緑がありました。それは、福谷公園付近の緑、城山保育園から杵ノ奥池付近の里山です。また田んぼや湿地も自然と認識し、緑地として指定することで残していってほしいです。

町長 福谷のその地区に、30m幅の上伊保知立バイパスが計画され、すでに買収が進んでいます。当該地区は山林分譲がされており、未買収の土地も一部あります。しかし、いずれは道路が整備されるようになることはご理解いただきたいと思います。

それぞれ個人の所有する土地です。緑地指定することは、地主に対して、大きな制限であり、大変難しいことです。緑を残していくのが一番いいのですが、どういう方法で残すかは十分考えていかなければならないと思います。

意見 路上駐車が多く、取り締まりも注意の

います。今後計画されている調整池の植栽について質問します。井守川・寺田川の調整池には水鳥がいます。しかし、整備された細口池には鳥がいません。これは、調整池には、人が近づけないからだと思いますので、人が入れないようにしていった方がよいのではと心配します。専門家の意見を聞いてから手を入れることはできないでしょうか。

町長 調整池の管理は愛知県です。調整池の周辺の植栽は、県にお願いして進めています。その中で、例えばフェンスの代わりに、ぎっしり木を植えて人が入れなくすることも考えています。野鳥の専門家に意見を聴けるかどうか分かりませんが、県と話し合いをしなければいけません。

住民 今後、大規模な公園を造る可能性や計画はありますか。また具体的に造りたいと思う公園のイメージがありますか。

町長 大規模な公園の計画はありません。計画を造れば大きなお金の問題となります。大きな公園としては、三好公園が三好町のシンボルです。そして現在整備中の、南部の細口公園もかなりの規模の公園ですので、今後も整備を進めていこうと考えています。

わたしが造りたいと考える公園のイメージは、お年寄りが増えているなか「すぐ歩いていける身近なところに憩いのあるもの」です。また現在、公園がないところは、造っていく必要があると思います。

皆さまの提言箱

コラム column



連載第19回

友好の証を守っていく

9月20日に「友好の森ふれあいツアー」に参加して、長野県三岳村に行ってきました。昨年9月のコラムで「お金をかけずにこの森を守る方法は」と考え、森林の環境保全活動として今回のツアーを実施。間伐隊として、親子やボイスカウト、町議員の皆さんなど、小学生から60歳以上の人まで、27人に参加していただきました。

三岳村とは、愛知用水の水が取り持つ縁で、昭和58年に友好提携を締結。その後三好町では、村内の既存の家屋を購入し、御岳やまの家をオープンしました。皆さんに利用していただけてきましたが、開設から20年が経過。建物は激しく老朽化し、また土地は借地であるため、継続して借りることができなくなりました。そのため、今年度限りで閉鎖することに決めました。そのほか三好町では、水源地を保全していること、村内の水源かん養林を購入しています。この森林は、これからも友好の証として永

久に守っていかなければなりません。森林の中で、最初に取得した7haは、まだ15年くらいはヒノキの森で、育林中です。残りの30haは、平成11年に取得。大木もたくさんあります。しかし、間伐が行き届いておらず、このままでは山が死んでしまいます。ヒノキの人工林ですがモミの木もあります。そこが今回の目的地でした。素人ばかりですので、長野県や三岳村、森林組合の皆さんに指導をしていただきながら、何とか作業を行いました。私たちはチェーンソーを使わずにのこぎりで伐採していたので大変でした。この日は、あいにくの雨模様。そのため、予定より早目に切り上げることに残り残念でした。

帰路の車中、参加者からアンケートをいただきました。「継続して開催するべき」「次回も参加したい」といった意見ばかりでした。反省点としては、トイレがなく、参加者には不便だったことです。私としては、徐々に森林浴をしながらの力仕事で汗を流して皆さんと山を守れるという充実感、そして心地よい疲れで楽しい一日となりました。

自然に親しむ、そこでいろいろなことを知る、そうすることで守らなければという心が芽生えてくる。まず、私たちの身近な自然に親しみましょう。そして、来年もぜひ友好の森へ！

三好町長
久野和英

張り紙も効果がありません。駐車場を借りてきちんと止めている者から見れば許せません。きれいな町と言えども、徹底的な取り締まりをお願いします。(提言箱)

答え 路上駐車対策の一つとして、啓発喚起看板を設置し、迷惑駐車をしないよう呼び掛けています。効果の見られる地域もあり、警察への取り締まりの要望とも併せて今後も継続していきます。路上駐車をしている人は、人や車が通行するのに大変迷惑が掛かります。駐車禁止ではない場所においても、駐車マナーを守っていただくようお願いいたします。(交通安全課)

意見 先日、乳がん検診の予約ができませんでした。検診のあり方に疑問があります。乳がん検診は、医療機関方式で受診できないにもかかわらず、保健センターで行われる集団方式は、実施回数も少なく、予約に漏れると受診できません。また子宮がん検診は、方式によって個人負担金の差が大きいので、良い方法に改善してください。(電子メール)

答え 乳がん検診は、集団方式のみ実施しており、希望者が多い状況です。保健センターでは、6月から11月にかけて計7回検診を開催し、560人に受診していただいています。検診の要望も多いことから、今後はさらに日程と定員の増加を検討していきます。

子宮がん検診の個別医療機関方式については、子宮(頸部)がんの細胞診に加え、がん以外の婦人科の病気を早期発見するための医師の診察(内診)が含まれています。集団方式とは検診内容が異なるため、個人負担金に違いがあります。(担当 健康課)

皆さまからのご提言をお待ちしています

三好町では、心の通う対話の町政を進めていこうと、町政に対する皆さまからの提言をいただくため「皆さまの提言箱」を設けています。

▶設置場所=役場、サンネット、サンアート、町民病院、総合体育館、中央図書館

- ※提言は「皆さまの提言箱」のほか、下記のいずれかの方法でも受け付けています。
- ①電子メール…✉teigen@town.miyoshi.aichi.jp
- ②ファクス…☎(32)2165
- ③郵便…〒470-0295 三好町役場広報情報課あて(住所不要)

広報情報課 ☎(32)8357

